

2019年7月

ヘルスケア・インサイト、イノベーションとインパクト

7月、ヘルスケア株のリターンは若干マイナスになり、S&P500指数をアンダーパフォームしました。

最近の市場動向の背景にある諸要因が引き続きヘルスケア株に影響し、ネガティブなセンチメントがこのセクターを圧迫しました。

ヘルスケア・プロバイダー & サービスとヘルスケア機器 & サプライが上昇した一方、ライフサイエンス・ツール & サービス、製薬、バイオテクノロジーが下落しました。

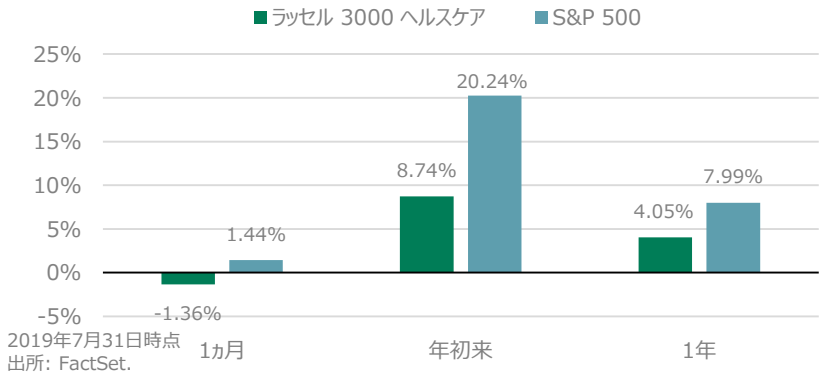
市場インサイト

7月、ヘルスケア株のリターンは若干マイナスになり、S&P500指数をアンダーパフォームしました。米中の貿易摩擦がマイナス要因となる一方で、FRBによる利下げがプラス要因となり、株式市場全体はやや上昇しました。

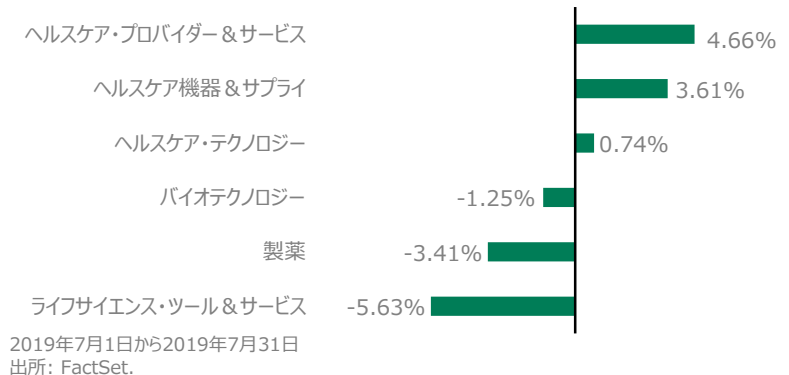
最近の市場動向の背景にある諸要因が引き続きヘルスケア株に影響し、ネガティブなセンチメントがこのセクターを圧迫しました。今月も再び、米国の大統領選に向けた討論で薬価制度とヘルスケア・セクターの規制が繰り返し取り上げられ、政治的リスクの懸念がヘルスケア株のパフォーマンスにネガティブに影響しました。ヘルスケア株と市場全体のパフォーマンスは、7月中旬に顕著に分かれました。ちょうどこの時期に、トランプ大統領が医薬品リベート廃止案を撤回しました。リベートは製薬会社と保険会社の間で交渉されており、医薬品価格が高い原因として非難を浴びています。この撤回を受けて健康保険会社は上昇し、バイオテクノロジーと製薬は下落しました。今月は、ヘルスケア・プロバイダー & サービスとヘルスケア機器 & サプライが上昇した一方、ライフサイエンス・ツール & サービス、製薬、バイオテクノロジーが下落しました。

パフォーマンス・スナップショット

月次トータルリターン



業種別超過リターン、対ラッセル3000ヘルスケア指数





「健全な生活を確保し、あらゆる世代層の健康を促進する」

インパクト・テーマ



革新的な治療法



医薬品とサービスへの
アクセス



医療費削減の新しい
ソリューション



機器、サービス、ソフトウェア
の生産性向上

整形外科と高齢化社会

平均寿命の延びと出生率の低下は、世界の国々が高齢化に直面していることを意味します。高齢化に伴い、疾患の長期的なケアと加齢による疾患の治療の需要が増加し、先進諸国全体の医療費の高騰につながっています。

今月のヘルスケア・マンスリー・レポートでは、筋骨格疾患の治療に用いられる整形外科用インプラントの市場拡大についてお話しします。これらの疾患や怪我は、骨粗しょう症や変形性関節症のリスクが高まる高齢化の自然な結果です。最も一般的である膝関節置換術を中心に、人工関節置換術による治療を見てみましょう。

米国では年間およそ70万件の膝関節置換が行われており、手術件数と一人当たりの件数の両方で世界一です。膨大な手術件数は、高齢化と肥満率の高さにも一部起因します。しかし、重要なことは、これらの治療法に関する技術と装置の進歩です。今日では、こういった治療は一貫して成功しているため、関節置換手術は外来で行われることが多く、簡単な手術の選択肢と一般に捉えられています。

以前は、手術による体へのダメージの懸念と平均寿命の短さのため、こういった手術はハードルが高いとみなされていました。しかし、今日では、人々は活動的な生活をより長く送るようになったため、これらの手術の需要が急増しています。興味深いことに、膝関節置換手術を受ける患者の平均年齢は下がっており、生涯で複数の膝関節置換手術を受ける人が増えています。

アジアでは、膝関節置換手術の件数は米国と比べて遥かに少ないものの、件数は増え続けています。ジンマー・バイオメット、ストライカー、メドトロニックといった医療機器会社は、アジア地域において堅調な業績を報告しています。規制のハードルと採用の障壁が欧米よりも高い日本では特に成長が顕著です。こういった手術が幅広く適用されていることは、医療技術が長寿の人々の生活水準を大幅に改善していることを表す興味深い例だと言えるでしょう。

注目銘柄

ジンマー・バイオメットは整形外科ビジネスの主要プレーヤーで、世界市場シェアの30%を占めています。同社の整形外科用機器と手術技術は、骨、関節、または軟部組織の障害に苦しむ人々を支援しています。痛みを和らげ、動きと機能を回復するように設計された膝、股関節、肩、肘の関節置換がこの例です。このような貢献は、私どもの目標としている国連の社会的インパクト・テーマ（左端参照）のうち、「疾患の革新的な治療法を提供する」を達成するのにふさわしいものです。

更に、同社は、先進国市場と新興国市場の両方で、ヘルスケア・サービスへのアクセスを改善する持続可能な開発目標に向けて取り組んでいます。ジンマーがどのようにこれを達成しているかを表す一例として、Indo UK Institutes of Health とのパートナーシップが挙げられます。同社は、今後20年間で、インドの約4億人の人々が高品質で手ごろな価格の筋骨格ヘルスケアにアクセスできるよう、整形外科センターを開発する予定です。

著者



Michael Li, Ph.D.

シニア・ポートフォリオ・
マネジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのVP及びシニア・ポートフォリオ・マネジャー。2002年に同社入社。それ以前は科学者及びプロジェクト・マネジャーとしてPharmaceutical Research Institute of Bristol-Myers Squibb Co. に勤務し、FDAに研究用新薬の申請を行うなど、医薬品発見から開発まで、研究者をサポートする多機能チームの管理に従事した。中国科学技術大学で材料科学及びエンジニアリングの学士号取得、ペンシルベニア大学ウォートンスクールで経営学修士号、ミシガン大学で化学Ph.D.を取得。



Henry He, CFA

ポートフォリオ・マネ
ジャー

アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ・マネジャー。前職はBNP Paribas Investment Partnersのシニア・エクイティ・リサーチ・アナリスト、及びポートフォリオ・マネジャーとしてヘルスケア及びバイオテクノロジーセクターの運用を担当。ハーバード大学で経済学学士号取得。CFA®チャーターホルダー。



Kevin Lewis, CFA, CAIA

シニア・クライアント・
ポートフォリオ・
マネジャー

投資家と共に歩み、グローバルグロース株式市場に関するインサイトと展望を提供する。また、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオ運用チームを代表して同社のグロース株投資哲学、投資プロセス、及びパフォーマンスを提供する。CFA®チャーターホルダー及びCAIA®チャーターホルダー。

過去のパフォーマンスは将来の投資成果を保証するものではありません。

ここに表明される意見は、アメリカン・センチュリー・インベストメンツの意見であり、アメリカン・センチュリー・インベストメンツのポートフォリオの将来のパフォーマンスを保証するものではありません。この情報は参考情報の提供のみを目的としており、投資アドバイスを目的としたものではありません。特定の有価証券への言及は、説明目的のためのみであり、有価証券の購入または売却の推奨を意図したものではありません。提示された意見及び予想は当社の判断とその他のポートフォリオ・データを含んでおり、予告なしに変更されることがあります。

この情報は、個人的な推奨あるいは信任アドバイスを意図したのではなく、投資や会計、法律、税務アドバイスの判断に用いられるべきではありません。

日本の投資家向け：この資料は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載されているいかなる有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略、プロダクトの売買の勧誘を目的としたものではありません。この資料は米国外のリテール投資家を対象としています。この文書の内容は規制当局によって審査されていません。American Century Investment Management, Inc. は日本で登録されていません。

American Century Investment Management (Asia Pacific), Limitedは証券先物委員会（「SFC」）のタイプ1およびタイプ4の登録を保持しています。American Century Investment Management, Inc.はSFCに登録されていません。

American Century Investments®

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111
1-866-628-8826

330 Madison Avenue
New York, NY 10017
1-866-628-8826

1665 Charleston Road
Mountain View, CA 94043
1-866-628-8826

2121 Rosecrans Avenue
El Segundo, CA 90245
1-866-628-8826

3 Garden Road, Central
Hong Kong
+852 3405 2600

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH
+44 20 7024 7080

167 Macquarie Street
Sydney, NSW 2000
+61 2 8667 3025

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。

したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。

なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2019年8月現在

ご購入時手数料 《上限4.32% (税込み)》※1	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816% (税込み)》※2	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 * 一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 * ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

(注)2019年10月1日以降消費税率が10%となった場合は、※1が4.4%(税込み)、※2が2.222%(税込み)となります。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会